



平成 23 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ワキタ
 代表者名 代表取締役社長 脇田 貞二
 (コード番号 8125)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 重松 巖
 (TEL. 06-6449-1901)

平成 24 年 2 月期 第 2 四半期累計期間における業績予想と実績との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 4 月 8 日の決算発表時に公表いたしました平成 24 年 2 月期 第 2 四半期連結・個別累計期間（平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、平成 24 年 2 月期 通期（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）の連結・個別業績予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

平成 24 年 2 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績との差異（平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 1,500	百万円 1,550	百万円 750	円 銭 18.50
今回発表実績 (B)	20,537	2,048	2,115	958	23.63
増減額 (B-A)	537	548	565	208	—
増減率 (%)	2.7	36.5	36.5	27.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 2 月期第 2 四半期)	19,551	1,540	1,648	895	22.08

平成 24 年 2 月期 通期連結業績予想の修正（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,000	百万円 3,150	百万円 3,300	百万円 1,800	円 銭 44.39
今回修正予想 (B)	41,500	3,800	3,800	1,850	45.63
増減額 (B-A)	500	650	500	50	—
増減率 (%)	1.2	20.6	15.2	2.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	40,317	2,859	3,032	1,760	43.41

平成 24 年 2 月期 第 2 四半期（累計）個別業績予想と実績との差異（平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,000	百万円 1,600	百万円 800	円 銭 19.73
今回発表実績 (B)	19,633	2,041	943	23.27
増減額 (B-A)	633	441	143	—
増減率 (%)	3.3	27.6	17.9	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 2 月期第 2 四半期)	18,576	1,678	932	23.00

平成24年2月期 通期個別業績予想の修正（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 39,000	百万円 3,400	百万円 1,850	円 銭 45.62
今回修正予想（B）	39,500	3,900	1,900	46.87
増減額（B－A）	500	500	50	—
増減率（%）	1.3	14.7	2.7	—
（ご参考）前期実績 （平成23年2月期）	38,676	3,176	1,804	44.50

差異及び修正の理由

(1) 第2四半期連結・個別累計期間における差異の理由

売上高につきましては、当社グループの主力事業である建機事業の賃貸部門におきまして、東日本大震災による復旧工事や計画停電等に伴うレンタル需要が東北地区の営業拠点で特に伸長したことを主因として、前期実績及び前回公表予想を上回ることができました。

利益面につきましては、建機事業における賃貸部門の粗利益率が向上したことや販売費及び一般管理費がわずかの増加に止まったことで、営業利益・経常利益ともに前期実績及び前回公表予想を上回りました。ただ、仙台支店が被災したことによる災害損失や資産除去債務会計基準の適用に伴う影響等で特別損失の発生を余儀なくされたため、四半期純利益は微増となりました。

以上により差異が生じ、業績予想を修正するものであります。

(2) 通期連結・個別業績予想の修正の理由

第2四半期累計期間において前回予想数値との差異が生じたこと、また、第3四半期以降も特に東日本地区において建機事業への需要が高水準を維持するものと予想し、通期業績予想についても修正するものであります。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以上